

別紙様式 1

令和 6 年度東畑中学校区研究推進計画

校番 中 1 1 呉市立東畑中学校

校長名 小方 幸恵

1 学校教育目標

「賢く 優しく 逞しく
ー進取 礼節 求学ー」

2 目指す児童生徒像

「確かな学力と自分と郷土に誇りをもつ児童生徒」

3 育成を目指す資質・能力（具体の姿）

資質・能力 設定した	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等
	知識・技能	論理的思考力・ 判断力・表現力	主体性・感謝・貢献
後期	学習した内容や方法を、 現実の課題や新たに生じた課題等の解決に駆使することができる。	多面的・多角的に考察し 公正に判断するとともに、 論理の展開の仕方や表現の 仕方などを工夫して、効果 的に表現することができる。	目標を明確にし、課題解 決に向けて、多様なメン バーと協働し、見通しをも って調整しながらやり切 り、 学びを自己の生き方につ なげ、周りに感謝し、地 域貢献することができる。
中期		複数の事柄や資料などを 関連付け、整理したり再 構成したりして、適切に 表現することができる。	課題解決の過程におい て、対象に対して積極 的に働きかけながら、 協働したり工夫したり して解決し、 学びの価値を考え、 周りに感謝することが できる。
前期 （中学年）		複数の事柄や資料など について、自分で視点 を設けて比較、分類、 関連付けてまとめる ことができる。	課題解決のために、 校内や地域の人など 対象に自ら働きかけ ながら、ねばり強く 取り組み、その成果 から自分のよさや可 能性に気付く、 周りの人に感謝する ことができる。
前期 （低学年）		身の回りの複数の事 柄や資料について、 気付いたことを基に、 比べたり分けたり、 例えたりして順序よ く説明することができる。	家族や友達、地域の 人など身近な対象に 進んでかわり、意欲 的に学習したり、生 活したりして、自分 のよさや可能性に 気付くことができる。

就 学 前	[知識及び技能の基礎] 豊かな体験を通じて、感じたり、気付いたり、分かたりできるようになったりする。	[思考力、判断力、表現力の基礎] 気付いたことやできるようになったことを使い、考えたり、試したり、工夫したり、表現したりする。	[学びに向かう力、人間性等] 心情、意欲、態度が育つ中で、よりよい生活を営もうとする。
-------------	---	--	--

4 研究主題と設定理由

(1) 研究主題

「確かな学力と自分と郷土に誇りをもつ児童生徒の育成」

～個を大切にする「考える授業づくり」と基礎学力の向上の取組、協働的な活動と適切な評価を通して～

(2) 設定理由（校区の児童生徒の課題分析等）

本中学校区は、令和5年度から「確かな学力と自分と郷土に誇りをもつ児童生徒の育成」を研究テーマに、2つの部会（学力向上部会・自尊感情向上部会）を中心に取り組んできた。

学力向上部会では、一人一人の問いを生かす学習課題の設定や発問の工夫を入れた「考える授業づくり」や中学校区で発達段階に合わせた「振り返りの例」「理由の伝え方」の活用、「学びのすすめ」における家庭学習での日記指導など、授業内外で書く活動にも取り組んだ。また、東畑中学校の試験期間中に合わせて「家庭学習強化週間」を実施し、一定以上の家庭学習の時間の確保に取り組んだ。自尊感情向上部会では、主体性・感謝・貢献の育成を目指して、地域や人と関わり協働してやりきる体験をさせ、適切な評価を実施することで自尊感情の向上を図った。また、その基盤となる生活習慣の向上を図るために、「はたっこライフ好きのカード」に取り組んだ。

これらの取組で、自尊感情の向上には一定の成果が得られた。しかし、学力調査等の結果からは「思考力・判断力・表現力」はもとより、基礎的・基本的な力の育成にも引き続き課題が残った。

そこで今年度も、研究主題を「確かな学力と自分と郷土に誇りをもつ児童生徒の育成～個を大切にする『考える授業づくり』と基礎学力の向上の取組、協働的な活動と適切な評価を通して～」とする。

学力向上部会では、真に学力に結びつく授業改善を行い、児童生徒の深い学びを促し、確かな学力の育成を目指す。特に、今年度は、呉市のリーフレットをこれまで以上に活用し、学習課題の設定や発問の工夫、自分の考えをまとめ書かせる場の設定、振り返りの評価等、「考える授業づくり」を行う。また、学習の見通しがもてるように授業の流れを黒板に提示すると共に、個を大切にした手立てを学習指導案にも明記し、一人一人が主体的に学ぶ環境を整備する。そして、今年度も「家庭学習強化週間」を実施し、家庭学習の習慣を確実に身に付けさせる。また、自尊感情向上部会では、昨年度に引き続き主体性・感謝・貢献の育成を目指す。学校行事やクリーン活動などを通して地域や人と関わりやりきる体験をさせ、適切な評価を実施していく。児童生徒一人一人に寄り添いながら自尊感情の向上を図る。そして、生活習慣の向上については、メディアとの付き合い方に重点を置き、SNSノートを活用したり外部講師を招いたりしてメディアリテラシーの向上を図る。

(3) 研究仮説

- 個を大切にする「考える授業づくり」（一人一人の問いを生かす学習課題の設定や発問の

工夫，一人一人の考えをまとめ書かせる場の設定，振り返りの評価等）と基礎学力向上の取組を，意図的に行うことにより，児童生徒の学力が向上するであろう。

- 人と関わり協働してやりきる体験をさせ，適切な評価を実施することにより，（児童生徒の自尊感情を高めることができるであろう。）自分と郷土に誇りをもたせることができるであろう。

5 研究内容

(1) 委員会・部会

ア 運営委員会・推進委員会

イ 部長・副部長会

ウ 部会

○ 学力向上部会

- ・ 学習課題や発問の工夫
 - ・ 考えをまとめる場の設定，再思考・再表現させる場の工夫，
「振り返りの例」を活用して振り返りを書く活動
 - ・ 授業プログラム等，個を大切にした手立て
 - ・ 基礎学力向上の取組
（宿題「学びのすすめ」「家庭学習強化週間」・学び方・書くこと「理由の伝え方」）
- ※いずれも呉市のリーフレットを十分に活用する。

○ 自尊感情向上部会

- ・ 意図的な異学年交流（感謝と貢献の相互作用）
- ・ 人と関わり協働してやりきる体験（感謝の手紙のやりとり）
- ・ 適切な評価の実施
- ・ 基本的生活習慣の確立
- ・ 礼節の徹底（着ベル，立腰，黙想，号令）

○ 小中合同研修会

3校において各1回行う。

- ・ 7月10日（水）：小中合同授業研（6年・算数・明立小学校）
- ・ 9月12日（木）：小中合同授業研（4年・算数・原小学校）
- ・ 10月29日（火）：小中合同授業研（2年・国語・東畑中）※田中教授招聘

(2) 東畑中学校区地域公開研究会（自主公開）

- 10月19日（土） 明立小学校
- 11月 6日（水） 東畑中学校
- 10月 6日（日） 原小学校

(3) 小中合同行事

ア 小中合同クリーン活動

11月11日（月）

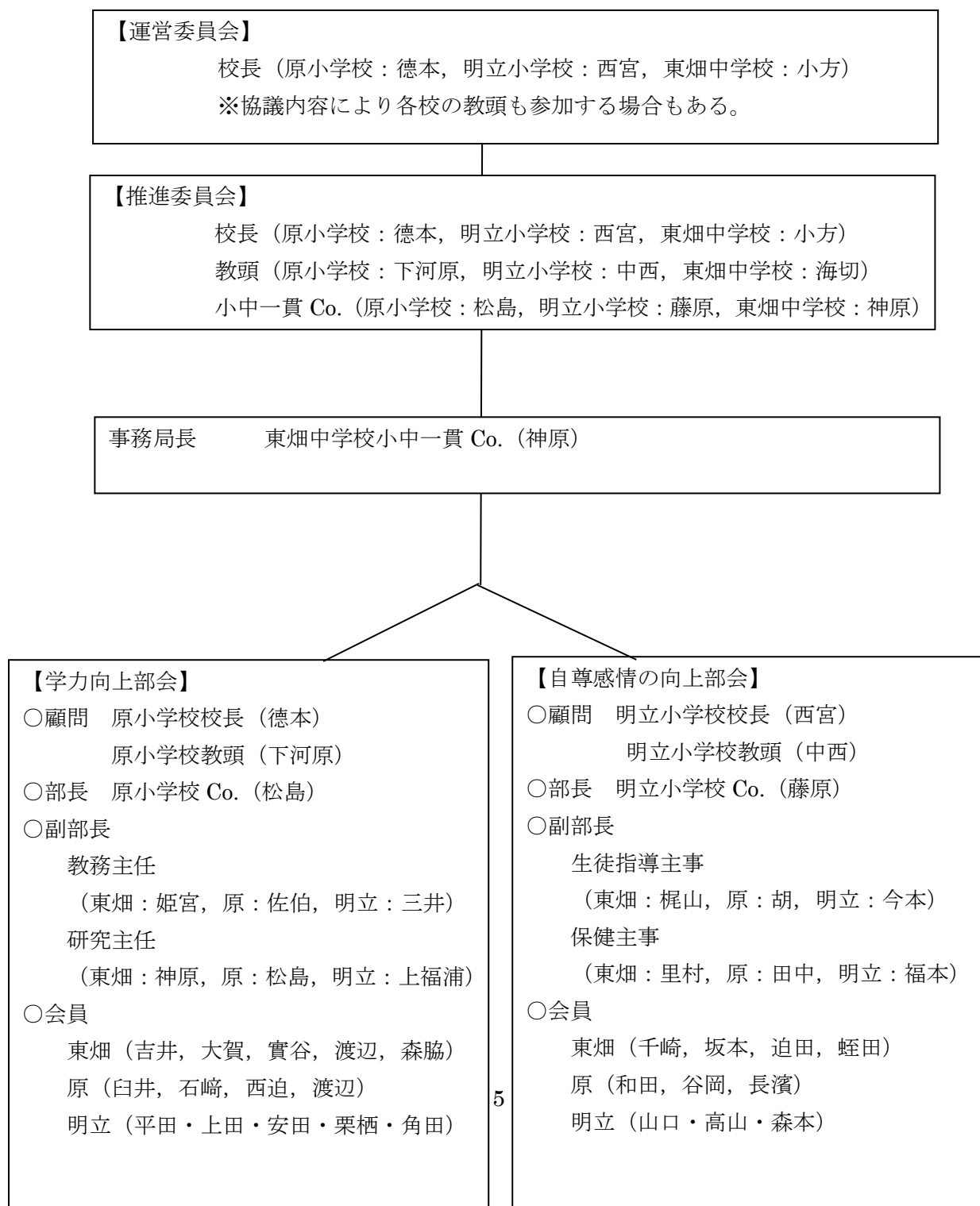
6 検証について

検証 の 視 点	方法			検証の指標		現状値		達成目標	
学力の 向 上 と 定 着	標準 学 力 調 査 （ 9 年 以 外 ）	国 語	前期	1 年	標準学力調査 平均通過率			+11.5	
				2 年	標準学力調査 平均通過率	+ 9.55		+11.5	
				3 年	標準学力調査 平均通過率	-2.25		-0.2	
				4 年	標準学力調査 平均通過率	-3.0		-1.0	
			中期	5 年	標準学力調査 平均通過率	+6.1		+8.1	
				6 年	標準学力調査 平均通過率	-2.25		-0.2	
				7 年	標準学力調査 平均通過率	-1.0		+ 1.0	
				後期	8 年	標準学力調査 平均通過率	-0.5		+2.5
		算 数 ・ 数 学	前期	1 年	標準学力調査 平均通過率			+9.5	
				2 年	標準学力調査 平均通過率	+7.5		+9.5	
				3 年	標準学力調査 平均通過率	-5.9		-3.9	
				4 年	標準学力調査 平均通過率	+0.95		+2.9	
			中期	5 年	標準学力調査 平均通過率	-1.55		+0.5	
				6 年	標準学力調査 平均通過率	-7.9		-5.9	
				7 年	標準学力調査 平均通過率	+1.7		+3.7	
				後期	8 年	標準学力調査 平均通過率	-4.0		-2.0
	全国 学 力 ・ 学 習 状 況 調 査 （ 6 ・ 9 年 ）	国 語	中期	6 年	全国学力調査 平均通過率	-1.0		+1.0	
			後期	9 年	全国学力調査 平均通過率	+4.2		+ 6.2	
		算 数 ・ 数 学	中期	6 年	全国学力調査 平均通過率	+1.7		+3.7	
			後期	9 年	全国学力調査 平均通過率	+5.0		+ 7.0	
	児童生徒 ア ン ケ ー ト				授業では、自分の考えとその理由を明らかにして、相手に分かりやすく伝えるように発表を工夫しています。		前期	82.1%	85.0%
							中期	81.0%	85.0%
							後期	70.9%	80.0%
					授業では、振り返りで視点に沿って自分の言葉で書いています。		前期	90.2%	95.0%
							中期	91.5%	95.0%
							後期	83.9%	90.0%
児童生徒 ア ン ケ ー ト				「自分にはよいところがある。」		前期	89.8%	90.0%	
						中期	82.5%	85.0%	

		「自分のよさは周りから認められている。」	後期	79.0%	85.0%
			前期	81.6%	80.0%
			中期	76.0%	80.0%
			後期	73.6%	80.0%
		「住んでいる地域が好きである。」	前期		85.0%
			中期		85.0%
			後期		85.0%
		「メディアの約束を守る」	前期	85.9%	90.0%
			中期	77.7%	85.0%
			後期	74.1%	80.0%

7 推進体制等

(1) 推進組織



(2) 一部教科担任制実施計画

ア 乗り入れ授業（中→小，小→中）

（中→小）

教 科	学級活動	対象学年	第 6 学年
時数・時期等	原小学校	： 3 月	中学校教員（教務主任・生徒指導主事）
	明立小学校	： 3 月	中学校教員（教務主任・生徒指導主事）

（小→中）

「里帰り学習」母校にて補充学習を行う。 対象学年 第 1 学年（第 7 学年）
8 月 1 日・2 日 1 日 1 時間を 2 回（部活後に母校にて課題学習を行う。）

※4月の入学者試験の結果をもとに対象者は限定する。

※必ず制服で参加し，里帰り補充の趣旨を理解させた上で，学習に臨ませる。

イ 小学校教科担任制等

原小 音楽（5・6 年）

明立小 音楽（4・5・6 年）

(3) その他

ア 実技指導

陸上競技部

対象学年 小学校陸上記録会参加児童（第 5，6 学年）

時数・時期等 原小学校 10 月 21 日（月）

明立小学校 10 月 22 日（火）

※小学校陸上記録会 10 月 26 日（土）

イ 中学校生徒会執行部生徒による小学校児童への生活指導

時 期 5 月頃

内 容 あいさつや姿勢等，礼節について

ウ 防災教育（第五地区防災訓練への参加）

東畑中・明立小は，児童生徒及び掲示物での参加。

8 推進計画

月 日	内容		
	東畑中	原小	明立小
4月11日(木)	部長・副部長会(各部会における詳細打合せ)		(明立小16:00)
4月19日(金)	総会→2部会(本年度の方針及び活動計画について)		(原小16:00)
5月中	中学校生徒会執行部生徒による小学校児童への生活指導		
6月19日(水)	あいさつ運動 生活づくり運動に伴うあいさつ運動(明立小へ)		
6月20日(木)	あいさつ運動 生活づくり運動に伴うあいさつ運動(原小へ)		
7月1日(月)	中学校区通信発行「はたっこ」発行		(担当:東畑中)
7月10日(水)	小中合同授業研究 明立小学校6年(算数)		
7月31日(水)	2部会→部長・副部長会 (1学期のまとめ, 2学期の計画 明立小15:00)		
8月1, 2日(木, 金)	里帰り学習(1日1時間×2日)		
8月29日(木)	推進委員会(2部会を受けて)		(東畑中16:00)
9月12日(木)	小中合同授業研 原小学校4年(算数)		
10月初旬			ブロック研
10月21日(月)	陸上技術指導 中学校陸上部生徒による児童への実技指導(原小へ)		
10月22日(火)	陸上技術指導 中学校陸上部生徒による児童への実技指導(明立小へ)		
10月6日(日)		自主公開	
10月19日(土)			自主公開
10月29日(火)	小中合同授業研究 東畑中学校2年(国語科) 安田女子大学 田中宏幸教授		
11月6日(水)	自主公開		
11月11日(月)	クリーン活動		
11月13日(水)	あいさつ運動 生活づくり運動に伴うあいさつ運動(原小へ)		
11月14日(木)	あいさつ運動 生活づくり運動に伴うあいさつ運動(明立小へ)		
11月中旬			ブロック研
12月2日(月)	中学校区通信発行「はたっこ」発行		(担当:明立小)
1月31日(金)	入学準備説明会(年度中学校入学予定児童の保護者対象)		
2月3日(月)	2部会→部長・副部長会 成果と課題(各校で集約しておく)次年度活動計画立案 (明立小 16:00)		
2月26日(月)	推進委員会(次年度の日程調整, 研究のまとめ, 今年度の成果と課題・次年度の方向性) (東畑中16:00)		
3月4日(月)	中学校区通信発行「はたっこ」発行		(担当:原小)
3月中旬	小学校へ乗り入れ②中学校生活の準備や心構えについて説明(原小へ)		
3月中旬	小学校へ乗り入れ②中学校生活の準備や心構えについて説明(明立小へ)		
3月21日(金)	推進委員会(次年度推進計画について)		(東畑中16:00)
3月27日(水)	小中連絡会 (東畑中10:00)		

9 その他

- 中学校区通信(年3回発行予定)
- 呉市教育委員会の指導・助言を受け, 効果的な実践を行う。
- 呉市教育委員会以外の指導・助言者を招聘し, 教職員が理論及び実践力を身に付ける。
- 10月29日(火)の合同授業研究では, 安田女子大学教授・田中宏幸先生の指導を受ける。

※ 研究構想図, カリキュラムマップを添付する。